

# 令和6年度 白川郷学園 体育・保健体育科研究構想

## 研究主題

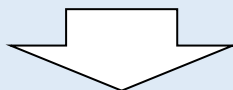
### 学びのひとりだちを目指す授業の創造

#### 体育・保健体育科で願う子どもの姿

課題提示や活動の中で動きのイメージを明確にもち、その実現に向けて意識するポイントを明らかにし、互いに見合い、教え合うことで動きの変容を感じ取りながら意識の修正・強化や練習方法の選択・工夫を行い、試行錯誤しながら追究する姿

#### 児童・生徒の実態

- 目指す姿や記録を明確にもち、よりよい動きの実現に向けて意欲的に追究することができる。
- 動きを見る視点に基づいて動きを見合い、伝え合うことができる。
- 動きを分析的(想起・比較・関連・類推)に捉える経験が不足しており、意識的に追究する姿に弱さがある。



## 研究内容

### ○9年間の学び方の系統性のもと、学びのひとりだちを目指す授業の工夫

#### (1) 明確なめあてや課題意識をもてる導入

- ・課題化の工夫により、単元や本時の目指す姿を明確にする  
(教師の示範、児童の示範、ICTによる視覚化)
- ・本時の活動内容(練習内容や練習方法、技術ポイント等)を示す

#### (2) 課題解決の具体的な見通しをもち、多様な学び方で試行錯誤できる展開

- ・「姿・技術ポイント」を明確にした多様な練習方法の設定
- ・観察の視点を明確にした見合い教え合い活動の位置づけ

#### (3) 自らの変容や学び方の自覚を促し、次の学びに生かす終末

- ・学習カードへの記入、掲示物(得点表など)への記入から、課題の達成度を見届ける
- ・あらゆる場面(計画会、反省会、前後半練習、中間研究会等)での発言や活動から見届ける

※(1)～(3)の手立てとしての白川村の地域素材の活用

※研究の土台としての基礎学力の定着を図る「みがき」の時間の充実